

# 茨城県立牛久栄進高等学校 グランドデザイン

目指す学校像：自主自律の態度と豊かな人間性を身につけた創造性豊かな青年を育てる学校  
本年度重点目標：社会の変化に対応し、  
新しい価値を創造する人財育成を目指す活力ある学校づくり

## 育てる生徒の姿

- ①自ら考え、行動することができる生徒
- ②何を学ぶべきか判断し、知的好奇心を持って、主体的に学習することができる生徒
- ③豊かな人間性を持ち、円滑で創造的な人間関係を築くことができる生徒

## 豊かな人間性

- ①自分の課題を見だし、自主的に行動できる。
- ②物事を多角的・多面的に見て、柔軟に考えられる。

## 健全な心身

- ①規則正しい生活・学習習慣を確立する。
- ②部活動や特別活動に積極的に取り組む。
- ③バランスのとれた心身をつくる。

## 資質・能力

### 何ができるようになるか

- ①確かな学力を身につけ、さらに発展した学習に活用できる。
- ②自分の考えを明確に主張するとともに、異なる意見・主張を取り入れながら、他者と協働することができる。
- ③自ら問題意識を持って課題を設定し、学んだことを生かして解決することができる。

### 何が身についたか

- ①他者の意見・主張をよく聞き、すでに学んでいることを活用しながら、自分の意見・主張を組み立てる力
- ②課題設定・解決のために見聞を広げ、多様な情報を取り入れ、自分の意見・主張をすりあわせて考える力
- ③自らの言葉で自分の意見・主張を伝える力
- ④多様性を受け止め、客観的で広い視野から課題解決に取り組む力

### 何を学ぶか 教育課程の柱

- ①学習における探究的手法（情報収集、資料活用、課題設定から発表、協働）
- ②論理的思考力
- ③他者および自己理解が図れる豊かなコミュニケーション力

### どのように学ぶか 本校の取組

- ・基礎力の定着と課題解決力の涵養に向けた学習 ・国際交流
- ・対話的でインタラクティブな学習 ・3年間を通じた系統的な小論文指導 ・ビブリオバトルによる読書指導 ・論述指導の充実
- ・記述力の向上 ・ディベートによる論理的思考力、表現力の向上
- ・ICT機器の活用による学習内容の深化

### 生徒の発達をどのように支援するか

- ・面談体制の充実：担任、副担任をはじめ職員全体でサポートにあたる。
- ・教育相談の活用：スクールカウンセラー等と連携し、家庭との連絡を密にする。

### 実施するために何が必要か 指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・単位制の特性を生かしたカリキュラム構成 ・e-Top推進室による進学指導 ・特別学習会（教育振興会主催） ・栄進ゼミ
- ・職業観セミナー ・大学模擬授業 ・大学研究室との交流、連携 ・海外派遣事業 ・生徒による地域貢献活動 ・系統だった指導体制の確立
- ・授業研究週間 ・先進校視察 ・ICT等を活用した指導法の可能性の追求 ・学びの連続性をふまえた異校種間の連携 ・学校評議員会
- ・コンプライアンス研修

### 安心・安全を守る

- ・教育相談、カウンセリング体制の充実 ・登校時指導 ・交通講話
- ・携帯スマホ教室 ・薬物乱用防止講座 ・着こなし講座
- ・地域との連携による防災避難訓練

### 開かれた学校づくり

- ・ホームページ、ホットメール等による情報発信 ・学びの広場サポーター
- ・学校公開 ・オープンハイスクール ・各種ボランティア活動
- ・オーストラリアからの交換留学生受け入れ ・他校との協働による探究活動